

B 個人企業である東京商店の取引の記帳に関する問題。

・資料2の取引の仕訳は以下のとおりである。

2日：(借) 仕 入 200 (貸) 売 掛 金 200
 8日：(借) 手形貸付金 120 (貸) 現 金 120
 12日：(借) 不 渡 手 形 160 (貸) 受 取 手 形 150
 当 座 預 金 10
 18日：(借) 当 座 預 金 95 (貸) 受 取 手 形 100
 手形売却損 5
 20日：(借) 買 掛 金 250 (貸) 支 払 手 形 250
 24日：(借) 受 取 手 形 280 (貸) 売 掛 金 280

買掛金の10月末残高、11月末残高
を用いて計算する。

$$630 - ? = 380$$

・資料1の10月末の残高と資料2をもとに各勘定の11月末の残高を計算すると次のようになる。

受取手形 … $600 - 150 - 100 + 280 = 630$
 売掛金 … $780 - 200 - 280 = 300$
 手形貸付金 … $220 + 120 = 340$
 不渡手形 … $200 + 160 = 360$
 支払手形 … $280 + 250 = 530$

第1問 Bの解答

コ	サ	シ	ス	セ
2	1	3	3	2

C 個人企業である北海道商店の本支店間取引の記帳に関する問題。

・(1)~(4)の仕訳は以下のとおりである。

(1) 本 店：(借) 支 店 120 (貸) 売 掛 金 120
 島根支店：(借) 現 金 120 (貸) 本 店 120
 (2) 福井支店：(借) 本 店 220 (貸) 仕 入 220
 島根支店：(借) 仕 入 220 (貸) 本 店 220
 本 店：(借) 島根支店 220 (貸) 福井支店 220
 (3) 本 店：(借) 本 店 280 (貸) 損 益 280
 本 店：(借) 損 益 80 (貸) 本 店 80
 (4) 本 店：(借) 現 金 50 (貸) 島根支店 50

第1問 Cの解答

ソ	タ	チ	ツ
0	2	9	1

第2問

個人企業である京都商店の特殊仕訳帳への記帳に関する問題。

- 資料1～資料4から、各帳簿への記帳は以下のとおりである。

仕 訳 帳

平成 ×5年	摘要	元 丁	借方	貸方
9 3	(仕入) 諸口 (前払金) (買掛金)	(52	
6	(買掛金)	省	250	30
8	(買掛金)	略	100	22
10	(現金))	200	250
	(売上)			100
				200

(注) 小書きは省略してある

3日残高 - 1日残高
8個 - 4個 = 4個
よって、単価は
 $52 \div 4 = 13$

3日残高 - 1日残高
 $112 - 60 = 52$

商 品 有 高 帳

(移動平均法)

平成 ×5年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9 1	前月繰越	4	15	60				4	15	60
3	奈良商店	4	13	52				8	14	112
10	三重商店				8	14	112	0	-	0
19	奈良商店	5	15	75				5	15	75
20	奈良商店戻し				1	15	15	4	15	60
24	滋賀商店	8	12	96				12	13	156
26	岐阜商店				4	13	52	8	13	104
27	岐阜商店戻り	1	13	13				9	13	117
30	次月繰越				9	13	117			
		22		296	22		296			

仕 入 帳

平成 ×5年	摘要	内 訳	金 額
9 24	滋賀商店 小切手 A商品 8個 @¥11 引取運賃現金払い	88 8	96
30	総仕入高		223
"	仕入戻し高		15
	純仕入高		208

資料3 24日より 金額¥96
内訳の商品代金は $96 - 8 = 88$

資料3のうち、3日、19日、24日が
仕入に関する記帳である。
 $52 + 75 + 96 = 223$

資料3のうち、20日が
仕入戻しに関する記帳である。

売 上 帳			
平成	摘要	内訳	金額
9	26 岐阜商店	掛 け	
	A 商品	4個 @¥25	100
	27 岐阜商店	掛け戻り	
	A 商品	1個 @¥25	25
	30	総 売 上 高	300
	〃	売 上 戻 り 高	25
		純 売 上 高	275

資料3 27日の記帳によると、戻り商品の数量は1個、したがって金額は $1 \times 25 = ¥25$ 。

この売上帳から、商品の売価は@¥25であることがわかる。資料3のうち、10日、26日が売上による記帳である。よって、 $(8個 + 4個) \times 25 = 300$ 。

資料3のうち、27日が売上戻りに関する記帳である。

$300 - 25 = 275$

※問題文より、この企業はA商品のみの売買を行っているため、A商品の商品有高帳のみで仕入帳、売上帳の数字を推測できる。

問3. 期首商品棚卸高 + 純仕入高 - 期末商品棚卸高 = 売上原価 より、
 $60 + 208 - 117 = 151$

問4. この4つの取引のうち、③の取引は在庫商品の数量、単価に変化は起きないので商品有高帳に記帳しない。

第2問の解答

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
4	6	7	0	1	3	8	8	1	5
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ			
2	7	5	1	5	1	3			

第3問

福島商事株式会社（決算は年1回）の決算処理に関する問題。

・資料1の仕訳は以下のとおりである。

(1)	(借) 買掛金	60	(貸) 当座預金	60
(2)	(借) 水道光熱費	2	(貸) 現金	8
	雑損	6		
(3)	(借) 仕入	447	(貸) 繰越商品	447
	繰越商品	410	(貸) 仕入	410

資料2より、繰越商品の残高¥447が期首商品棚卸高となる。

(4)	(借) 貸倒償却	15	(貸) 貸倒引当金	15
-----	----------	----	-----------	----

資料2より、受取手形の残高は¥320、売掛金の残高は¥630

(5)	(借) 減価償却費	90	(貸) 備品減価償却累計額	90
-----	-----------	----	---------------	----

資料2より、備品の取得原価は¥500。
 $(500 - 500 \times 10\%) \div 5 = 90$

(6)	(借) 有価証券	10	(貸) 有価証券評価益	10
-----	----------	----	-------------	----

資料2より、有価証券の時価は¥420、帳簿価額は¥410。

(7)	(借) 消耗品	14	(貸) 消耗品費	14
-----	---------	----	----------	----

(8)	(借) 前払家賃	80	(貸) 支払家賃	80
-----	----------	----	----------	----

支払日は8月1日、決算日は3月31日より前払は4ヶ月分である。
 $4 \times 20 = 80$

(9)	(借) 支払利息	5	(貸) 未払利息	5
-----	----------	---	----------	---

前回の利払日は10月30日、次回の利払日は4月1日、決算日は3月31日より未払は5ヶ月分。
資料2より、借入金の金額は¥200。
よって、 $200 \times 6\% \div 2 = 6$ (半年分の利息) $6 \times \frac{5}{6} = 5$

(10)	(借) 社債利息	5	(貸) 社債	5
------	----------	---	--------	---

$(500 - 500 \times 0.95) \div 5 = 5$

(11)	(借) 法人税等	150	(貸) 仮払法人税等	70
	未払法人税等	80		

資料2より、仮払法人税等の金額は¥70。

・資料1より、資料2の精算表は以下のとおりになる。

精 算 表

平成×6年3月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	240			8			232	
当座預金	860			60			800	
受取手形	320						320	
売掛金	630						630	
貸倒引当金		23		15				38
有価証券	410		10				420	
繰越商品	447		410	447			410	
仮払法人税等	70			70				
備品	500						500	
備品減価償却累計額		180		90				270
買掛金		300	60					240
借入金		200						200
社債		485		5				490
資本		1,200						1,200
資本準備金		150						150
利益準備金		125						125
繰越利益剰余金		183						183
売上		4,234				4,234		
仕入	2,500		447	410	2,537			
給料	695				695			
消耗品費	33			14	19			
支払家賃	312			80	232			
水道光熱費	36		2		38			
支払利息	7		5		12			
社債利息	20		5		25			
	7,080	7,080						
雑損			6		6			
貸倒償却			15		15			
原価償却費			90		90			
有価証券評価益				10		10		
消耗品			14				14	
前払家賃			80				80	
未払利息				5				5
法人税等			150		150			
未払法人税等				80				80
当期純利益					425			425
			1,294	1,294	4,244	4,244	3,406	3,406

問2.

・利益準備金の計算方法

①配当金の10分の1

②資本金の4分の1から資本準備金と利益準備金を引いた金額

①、②のうち小さい方が利益準備金の金額になる。

$$\text{①} \cdots 300 \times \frac{1}{10} = 30$$

$$\text{②} \cdots 1,200 \times \frac{1}{4} - (150 + 125) = 25$$

したがって、利益準備金の計上額は¥25となる。仕訳にあらわすと次のとおりである。

(借) 繰越利益剰余金 375 (貸) 未払配当金 300
利益準備金 25
別途積立金 50

第3問の解答

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
5	3	7	1	9	2	3	2	2	5
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
6	1	5	9	0	1	0	8	0	5
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
8	0	3	2	5					